

スノボHP 平野銀



【平昌共同】平昌冬季五輪第6日の14日、スノーボードの男子ハーフパイプ（HP）決勝で、平野歩夢（19）が木下グループが前回のソチ五輪に続いて銀メダルを獲得した。2回目に95・25点の高得点をマークした。今大会、日本選手のメダルは4個目。

片山来夢（22）はバートン（7位）。戸塚優斗（16）はヨネックス（2回目）は2回目でエアの着地に失敗して棄権し、11位に終わった。

トリノ、バンクーバー五輪金メダルのショーン・ホワイト（米国）が2大会ぶり3度目の金メダル。

【男子ハーフパイプ決勝】エアを決める平野歩夢＝平昌（共同）